

つなぐながれ広がる

NPOの輪

〈市民公益活動団体リレートーク⑱〉

特定非営利活動法人 イーティーシー

「新しい建物をつくるばかりが街づくりではない。伝統のある建物や周辺農村部の風景を残し、生かしながら街の活性化を図ることが重要」と語るのは、イーティーシーの及川純一理事長。

道路の拡幅などで伝統のある蔵が取り壊されていく中、古いものがなくなってもいいのか、という疑問から建築士会を中心に勉強会を始め、平成8年に街づくりを考える会としてイーティーシーが発足しました。

発足当時は、街づくりを実践している黒船の計画を具現化するための側面支援が中心でした。蔵町モールにある黒壁ガラス館周辺の町並みはその時の成果です。その後、県内市町村から景観計画策定に関連する依頼が増えたため、責任と実行を明

確にする必要があり、13年3月に特定非営利活動法人として認証を受けました。これを機に、中心商店街における町並みや伝統建造物、河川など自然資源の活用および保全による街づくりを実践することにより、街にぎわいを取り戻すことを目的とした活動を本格化させました。

同法人の会員は現在15人。職業は、建築士や造園業、不動産業、会社員など多岐にわたります。また、事業実施にあたっては、地域住民や高校生などと協働して取り組んでいます。**蔵を巡るマップも作製**

街づくりの活動としては、蔵町モールへの植栽を行うコミュニティガーデン事業や、板塀で景観を和風に統一する黒塀プロジェクトを実施

黒塀プロジェクトでは会員と地域住民がペンキ塗りをした。



また、県立岩谷堂高校の生徒との景観学習を機に、町歩きを楽しむ「えさしの町並みまるごと楽しむ探検絵図」を作製。今年度はこのマップを使い、歩く会を計画しています。**藤里地区で地域ビジョン策定**

周辺農村部での取り組みとしては、江刺区藤里の寿集落において住民と共に今後10年の地域ビジョンを策定しました。この計画に沿ってため池復活事業や遊歩道整備を行っています。今後は自然生態系に配慮した水路づくりも行う予定です。



奥州市景観計画策定のためのワークショップを運営

interview



特定非営利活動法人イーティーシー 理事長

及川 純一さん (60)

まちづくりや地域づくりは、これからの地域を担っていく若い人が中心となって取り組んでいかなければと思います。自分たちがどうしたいのか、何ができるのかを考えてほしいですね。自ら考え実践することは、達成感もあるし地域への愛着を深めることにもなります。当会はそのお手伝いをしますので気軽に参加してほしいと思います。



特定非営利活動法人イーティーシー 事務局

小原 洋一さん (44)

以前は建物などハードづくりの活動が中心でしたが、最近はソフト面での支援が増えてきました。一人ではできないことでもみんなの知恵を出し合えば解決できます。ただし専門家だけではだめ。職業や年齢にかかわらず、いろんな人に参加してほしいと思います。多くの人と出会って勉強していきたいですね。

NPO 伝言板

市内のNPO活動をお知らせします。情報の掲載を希望する場合は、市民活動支援センター（☎④ 4200）までお問い合わせください。

●がん患者と家族の語り合いの会

日時：5月20日 日 午後1時半～4時
場所：市民活動支援センター
内容：がん患者やその家族を対象としたお話や勉強会
参加料：無料
その他：申し込み不要
問い合わせ：奥州かたくりの会（菅原 ☎ 080-1834-3188）

●手話の学習会

日時：毎週 金 午前10時～正午
場所：市民活動支援センター
内容：ろうあ者と交流しながら手話の学習
参加料：無料
その他：申し込み不要
主催：手話サークルZ
問い合わせ：市民活動支援センター（☎ ④ 4200）

●社会保険労務に関する相談会

日時：6月11日 日～15日 金 午前9時～午後5時
場所：市民活動支援センター
内容：社会保険労務士による経営者、労働者を対象とした相談会
参加料：無料
その他：申し込み不要
問い合わせ：県社会保険労務士会（及川 ☎ ④ 4827）

NPOとは…市民公益活動団体のこと。NPO法人やボランティア団体など「公益的な活動を、自発的に継続して行う民間非営利組織」の総称です